

2025年 7 月

株式会社商事法務・債権管理実務研究会

〔プレミアム〕 8 月～ 月例会のご案内

＜債権管理実務研究会 事務局＞

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階

TEL : 03(6262)6764 FAX : 03(6262)6802

Email : saiken-kanri@shojihomu.co.jp

HP : <https://saiken.shojihomu.co.jp/>

《 事務局より 》

プレミアム会員の皆様は、商事法務ビジネス・ロー・スクールの無料提供（4 頁参照）とアーカイブ配信講座（17 頁参照）がございます。ご活用いただけますと幸いです。

【会員懇談会のご案内】

■大阪会場■

9 月 3 日（水）16 時～

【会員懇談会】わが社における審査部門の審査事例

※終了後に懇親会を（会費制）を実施

【2024 年度ベスト3 セミナー再配信のご案内】

視聴回数の多かったセミナーを再配信します。この機会にご視聴ください。
（視聴期間：7 月 1 日（火）～2026 年 6 月 30 日（火））

★【実務講座】新任審査担当者のための基礎講座

～営業支援型審査の心得と与信マインドの醸成～（2024 年 4 月 11 日収録）

講師 佐野 進 氏（㈱山善）

★倒産法入門

～取引先の倒産に慌てないための基本と実践～（2024 年 4 月 18 日収録）

講師 窪田三四郎 弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）

★【実務講座】今こそ！ 与信管理（2024 年 5 月 9 日収録）

講師 原 宏孝 氏（大丸興業㈱）

【月例会のご案内】

1. アメリカ倒産法概説講座（全 2 回）

〔講 師〕藤 浩太郎 弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）

〔視聴期間〕8 月 1 日（金）～8 月 29 日（金）（収録日：7 月 3 日（木）、7 月 15 日（火））

2. 事例から学ぶ スタートアップとの事業連携／出資・M&Aの法務・リスクポイント

〔講 師〕山口敦史 弁護士／小松 諒 弁護士（長島・大野・常松法律事務所）

〔視聴期間〕8 月 1 日（金）～8 月 29 日（金）（収録日：7 月 10 日（木））

3. AI 活用の落とし穴～業務フロー再設計と与信限度額の基本的な考え方を中心に～

〔講 師〕牧野和彦 氏（ナレッジマネジメントジャパン㈱）

〔視聴期間〕8 月 1 日（金）～9 月 1 日（月）（収録日：7 月 9 日（水））

4. 企業の真価を見抜け！数字・保険・倒産から読み解く、3つのプロ視点で探るリスクの本質

〔講師・モデレータ〕有限責任あずさ監査法人／㈱帝国データバンク／㈱日本貿易保険／丸紅セーフネット㈱

〔視聴期間〕8 月 15 日（金）～9 月 16 日（火）（収録日：7 月 18 日（金））

5. 仕入先とのトラブル対応と管理の視点

〔講 師〕川畑真治 弁護士／佐山寧秀 弁護士（法律事務所三ツ星）

〔視聴期間〕9月1日（月）～9月30日（火）（収録日：7月30日（水））

6. 価格転嫁が迫られる中、銀行の金利交渉術から学ぶ *会場開催+LIVE 配信

～それでも取引先には選ばれる企業になるには～

〔講 師〕堀内伸之 氏（あおぞら地域総研(株)）

〔開催日〕8月1日（金）10-12時（視聴期間：9月1日（月）～9月30日（火））

7. 業務効率化のためのテック導入・利活用の実務ガイド（全2回） *会場開催+LIVE 配信

～電子契約・署名・文書管理・リーガルテックの導入から運用・最適化・リスク対応まで～

〔講 師〕齋藤弘樹 弁護士／岩本圭矢 弁護士（岩田合同法律事務所）

〔開催日〕第1回：8月27日（水）10-12時（視聴期間：9月16日（火）～10月15日（水））

第2回：9月11日（木）10-12時（視聴期間：10月1日（水）～10月31日（金））

8. 契約条項からみた相殺の実務 *会場開催+LIVE 配信

〔講 師〕小野 渡 弁護士（松田綜合法律事務所）

〔開催日〕8月28日（木）10-12時（視聴期間：10月1日（水）～10月31日（金））

9. 【実務講座】海外取引先の与信管理の基礎 *会場開催+LIVE 配信

〔講 師〕保阪賀津彦 氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

〔開催日〕9月3日（水）10-12時（視聴期間：10月1日（水）～10月31日（金））

10. 法的視点で解説 AI 導入・利活用の実務ガイド *会場開催+LIVE 配信

～中堅・中小企業でも始められる AI ガバナンスとリスク対応～

〔講 師〕殿村桂司 弁護士／小松 諒 弁護士（長島・大野・常松法律事務所）／

佐久間弘明 氏（一般社団法人 AI ガバナンス協会 業務執行理事 兼 事務局長）

〔開催日〕9月17日（水）15時30分-17時（視聴期間：10月15日（水）～11月14日（金））

11. 実務で活かす！工場地における不動産鑑定・評価の最新動向と模擬実演 *会場開催+LIVE 配信

〔講 師〕松岡貴史 不動産鑑定士（総合都市鑑定(株)）

〔開催日〕9月24日（水）10-12時（視聴期間：10月15日（水）～11月14日（金））

12. 古くて新しい！？ 循環取引をめぐる裁判例動向と企業の管理体制の在り方

～開示検査事例集も紐解きながら～（全2回）

〔講 師〕遠藤元一 弁護士（東京霞ヶ関法律事務所）

〔開催日〕第1回：9月30日（火）10-12時

第2回：10月14日（火）10-12時 *WEB 配信は後日ご案内します

13. 経理・財務・監査・審査・法務のための改正リース会計基準の影響と実務対応

～リース契約を紐解きながら～ *会場開催+LIVE 配信

〔講 師〕加藤建治 氏（公益社団法人リース事業協会 常務理事 事務局長）

〔開催日〕10月8日（水）10-12時（視聴期間：11月4日（火）～12月1日（月））

14. ゼロから学び直す 投融資の基本とリスクテイクの実務感覚

～出資・提携・M&Aをどう選び、どのようなリスクをどう取るか～

〔講 師〕第1章 島村哲生 氏／第2章 川手直子 氏／第3章 清水昂星 氏

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

〔開催日〕第1章：10月16日（木）10-12時30分

第2章：11月19日（水）10-12時30分

第3章：12月9日（火）10-12時30分 *WEB 配信は後日ご案内します

15. これだけは押さえて！ 民法&建設業法の重要ポイント解説

～契約・発注・法改正のリスクと対策～（全2回）

〔講 師〕 本間伸也 弁護士（那須・本間法律事務所）

〔開催日〕 **第1回：10月22日（水）14時30分-17時**

第2回：11月5日（水）14時30分-17時 *WEB配信は後日ご案内します

16. 債権管理・回収の最新動向から考える与信管理の現在地

～実務の基本と変化に対応する管理体制とは～

〔講 師〕 近岡裕輔 弁護士（片岡総合法律事務所）

〔開催日〕 **11月12日（水）10-12時** *WEB配信は後日ご案内します

プレミアム特典 商事法務ビジネス・ロー・スクールのセミナーについて

現在、提供予定のセミナーは以下のとおりです。お申込みは弊社 HP よりお願いいたします。

【大阪会場開催+LIVE 配信+WEB 配信】

実践から学ぶ！契約書審査業務の勘所 [2025 年] ～他社の皆様どうしてですか？～

〔講座概要〕2024 年・2025 年に実施した「実践で学ぶ契約書審査業務の勘所」では、50 名を超える受講者がモデル契約書（売買基本契約書・業務委託経書）のレビューに取り組み、講師の添削を通じて実践力を養いました。本講座では、その中で見えてきた“陥りがちなミス”や“見落としがちなポイント”を紹介し、実務に役立つ契約書レビューの勘所を学びます。

〔講師〕大川 治 弁護士／松尾洋輔 弁護士（堂島法律事務所）

〔開催日程〕第 1 部 9 月 18 日（木）11 時～12 時（ZOOM 開催）

第 2 部 10 月 10 日（金）14 時 30 分～17 時（大阪会場開催）

〔視聴期間〕9 月 25 日（木）配信開始予定

【会場開催+WEB 配信】

先例から学ぶ 企業不祥事への備え～『企業不祥事インデックス』を紐解きながら～（全 12 回+特別パネルディスカッション）

〔講座概要〕過去の不祥事事案 167 件のエッセンスをまとめた『企業不祥事インデックス〔第 3 版〕』を用いて、これらの事案を紐解きながら、全 12 回の連続セミナーで種々のタイプの不祥事事案を網羅的かつコンパクトに理解していただけるよう、経験豊富な執筆陣が解説

2024 年 10 月～12 月に収録した全 12 回の再配信に加えて、今回新たに実務家 4 名による特別パネルディスカッションを開催

〔講師〕上谷佳宏 弁護士（弁護士法人東町法律事務所）

竹内 朗 弁護士・公認不正検査士（プロアクト法律事務所）

上村 剛 弁護士・公認不正検査士（東京丸の内法律事務所） 他多数

〔特別パネルディスカッション開催日程〕9 月 3 日（水）16 時～17 時 30 分（予定）

〔視聴期間〕6 月 2 日（月）～10 月 31 日（金）

※参考資料として、『企業不祥事インデックス〔第 3 版〕』（2024 年・株商事法務）を配布（無料贈呈、1 社 1 冊に限る（2024 年 10 月～2025 年 5 月 16 日収録配信講座の申込者は除く））

【WEB 配信】

契約交渉の要点～提案された契約書案を的確に修正する技法～

〔講座概要〕相手方との力関係等を踏まえて、契約書交渉における主導権や時間的制約といった前提条件が契約交渉に与える影響を説明したうえで、「都合の悪い条項を削除した際の影響」「修正の限界と優先順位の付け方」など、現場で直面する課題に対応するための実務的な知識をわかりやすく解説

〔講師〕太田大三 弁護士（丸の内総合法律事務所）

〔視聴期間〕7 月 22 日（火）～9 月 30 日（火）（収録日：7 月 8 日（火））

視聴期間「8月1日（金）～8月29日（金）」のセミナー

テーマ アメリカ倒産法概説講座（全2回）（7/3, 7/15収録 合計5時間）
講師 藤 浩太郎弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）

企業活動のグローバル化が進展する一方で、いわゆるトランプ関税等の影響により世界経済は不透明さを増しており、日本企業においても海外の倒産手続に直面するケースが増加しています。特に、アメリカの倒産手続は、①日本とアメリカとの経済的関係が強いため接する機会が多いこと、②アメリカ企業のみならず、グローバル企業においても利用されること、③世界各国の倒産法制に多大な影響を与えていることから、海外取引を行う日本企業にとって重要性が高いといえます。

そこで本セミナーでは、全2回に亘り、①アメリカの倒産法を日本の倒産法と比較しつつ体系的に概観した上で、②実例（ケーススタディ）を基に実務上のポイントを詳しく解説すると共に、③国際的な倒産法制の最新動向についてもお伝えします。

<主要講義項目>

第1回

1. アメリカ倒産法の全体像と手続の概要
2. アメリカ倒産法の制度説明（日本法との比較を含む）
手続開始とその効力／債務者会社の事業継続・事業譲渡／債権者の権利／否認権／
再建計画の提出・認可
3. 債権管理・債権回収という観点からの留意点

第2回

4. アメリカ倒産法における国際倒産に関する制度（チャプター15手続）
5. 国際的な倒産／事業再生法制の近時の動向
6. ケーススタディ

視聴期間「8月1日（金）～8月29日（金）」のセミナー

テーマ 事例から学ぶ スタートアップとの事業連携／出資・M&Aの法務・リスクポイント

(7/10収録 2時間)

講師 山口敦史 弁護士／小松 諒 弁護士（長島・大野・常松法律事務所）

《企画監修》殿村桂司 弁護士（長島・大野・常松法律事務所）

近年、急速な技術革新や市場環境の変化に対応するため、事業会社とスタートアップの事業連携や出資・M&Aの重要性が高まっています。スタートアップは革新的な技術やビジネスモデルを持ち、一方で事業会社は資本や市場での影響力を有しており、相互の強みを活かした協業が競争力向上の鍵となります。しかし、異なる企業文化や経営方針、技術等をどのように競争優位性に繋げるかの違いから、連携が期待通りに進まないケースも少なくありません。

本講義では、まずスタートアップとの事業連携や出資・M&Aを成功に導くための基本的な法務の考え方を学びます。次に、事例をもとに、事業連携や出資・M&Aの各ステップでの課題や成功要因を整理し、実務で活用できる知識を習得します。特に、契約面のリスクや、双方の立場の違いを意識した交渉のポイントについても詳しく解説し、円滑な取引を実現するための留意点を学びます。

また、本講義では事業会社・スタートアップ双方の視点を持つ講師陣が、事例を交えながら実践的なノウハウを提供します。これにより、スタートアップとの効果的な事業連携・出資・M&Aを進めるための実践的な知識を深め、自社の成長戦略に役立てていただくことを目指します。

＜主要講義項目＞

- 1 スタートアップとの事業連携／出資・M&Aの基本的な考え方
- 2 スタートアップとの事業連携のステップ別の留意点
- 3 スタートアップへの出資・M&Aのステップ別の留意点
- 4 スタートアップとの事業連携／出資・M&Aの契約上の留意点

視聴期間「8月1日（金）～9月1日（月）」のセミナー

テーマ AI 活用の落とし穴
～業務フロー再設計と与信限度額の基本的な考え方を中心に～（7/9 収録 1 時間）
講師 牧野和彦 氏（ナレッジマネジメントジャパン(株) 代表取締役）

現代のビジネス環境では、取引の多様化やスピード化が進む中、企業の与信管理はますます複雑化しています。こうした状況下で、各社は AI を活用した審査業務の効率化を模索していますが、そのためには前提知識の習得や、AI への過信・誤用による業務リスクの適切な把握が欠かせません。

本セミナーは、7 月 9 日に開催した「与信管理実務講座〔AI を活用した与信限度額設定＋与信管理規定作成〕」の内容を再編集したものです。当日の ChatGPT を用いた演習部分を除き、AI を単なるツールとして導入するだけでは見落とされがちな、業務フローの見直しに焦点を当てます。さらに、AI を活用する前提となる与信限度額の基本的な考え方や設定要因など、実務上のポイントに絞って解説します。

その他 8 月に配信中のセミナー

■視聴期間■ 7 月 15 日（火）～8 月 18 日（月）

現場目線の与信管理

～倒産件数が増加している原因は、債務者心理の変化にある～（全 2 回）第 2 回（6/18 収録 2 時間）

〔講師〕 川野雅之 氏（有）川野コンサルティング）

債権管理担当者のための不動産鑑定・評価の基礎知識とケーススタディ

～主に工場の鑑定評価における特徴と市場動向～（全 2 回）第 2 回（6/12 収録 2 時間）

〔講師〕 松岡貴史 不動産鑑定士（総合都市鑑定(株)）

海外与信実務講座〔基礎編〕（6/11 収録 2 時間）

〔講師〕 牧野和彦 氏（ナレッジマネジメントジャパン(株)）

最低限押さえておきたい「下請法」改正のポイント解説（速報版）（7/2 収録 1.5 時間）

〔講師〕 村上 亮 弁護士（日比谷総合法律事務所）

視聴期間「8月15日（金）～9月16日（火）」のセミナー

テーマ **企業の真価を見抜け！数字・保険・倒産から読み解く、
3つのプロ視点で探るリスクの本質** (7/18 収録 3時間)

講師・モデレータ **有限責任あずさ監査法人／(株)帝国データバンク／(株)日本貿易保険／
丸紅セーフネット(株)**

世界経済の先行きがかつてないほど不透明さを増す中、企業を取り巻くリスクも複雑化・多様化しています。米国による対中追加関税の再開やグローバルな保護主義の再燃、為替や資源価格の乱高下、さらにウクライナや中東を巡る地政学的リスクの長期化など、企業経営に与える影響は深刻かつ広範です。国内においても、物価・金利の上昇、人手不足、資材コストの高騰などが重なり、特に中堅・中小企業を中心に倒産件数は増加傾向にあります。今、私たちは「これまでの常識が通用しない時代」を迎えていると言っても過言ではありません。

こうした状況の中で求められるのは、見かけの数字や一時的な業績だけにとらわれず、企業の実態や潜むリスクを多面的にとらえる力です。本セミナーでは、企業調査・保険・監査といった異なる分野の専門機関が集まり、それぞれの立場から企業リスクを読み解くヒントをお届けします。

パート①では、帝国データバンクが登壇。2025年に入ってから倒産動向から、景気の変化や業界特有の課題についてわかりやすく解説します。

パート②では、日本貿易保険が、海外ビジネスに潜む信用・カントリーリスクへの備えとしての「貿易保険」の仕組みや活用事例を紹介。想定外のリスクにどう備えるか、そのヒントが得られます。

パート③では、あずさ監査法人による財務分析の基礎講座。財務諸表の見方や健全性・安全性の判断ポイントなど、審査や取引判断にすぐに役立つ視点を学べます。

本企画のメインである対談企画ではパート①～③を受け、丸紅セーフネットのモデレーションのもと、登壇会社全員による対談を実施。数字・保険・倒産という異なる視点から、今後の企業評価やリスク戦略をどう考えるべきかを掘り下げます。専門家同士のやり取りを通じて、実務に落とし込める多くの気づきが得られるはずです。

経営企画、審査、財務、営業、リスク管理部門など、企業の見極めと判断に関わるすべての方にとって、有益な学びの場となる本セミナー。皆さまのご受講を心よりお待ちしております。

冒頭解説 変化する経済環境における企業リスクの理解と対策 (株)商事法務 債権管理実務研究会 事務局)

パート① 2025年 倒産動向から経済動向を学ぶ

大隅真志 氏 (株)帝国データバンク 名古屋支店 情報部長)

パート② 貿易保険の仕組みと保険を活用したリスク管理

岡田昇祥 氏 (株)日本貿易保険 大阪支店 営業グループ)

パート③ 企業実態を把握するための財務分析の基本

小川紀久子 氏 (有限責任 あずさ監査法人 企業成長支援本部所属 テクニカル・ディレクター)

対談企画 リスクを多角的に読み解く！！国内外の潮流と企業評価のリアル

～倒産動向・貿易保険・財務分析＋内部統制・不正防止・倫理視点から考える 2025年のリスク戦略～

大隅真志 氏 (株)帝国データバンク 名古屋支店 情報部長)

高橋 透 氏 (株)日本貿易保険 大阪支店 営業グループ長)

伏木貞彦 氏 (有限責任 あずさ監査法人 企業成長支援本部所属 パートナー)

【モデレータ】木村憲司 氏 (丸紅セーフネット(株) 名古屋支店長)

視聴期間「9月1日（月）～9月30日（火）」のセミナー

テーマ **仕入れ先とのトラブル対応と管理の視点** (7/30収録 2時間)
講師 川畑真治 弁護士／佐山寧秀 弁護士（法律事務所三ツ星）

売掛金回収の観点から、売り先の与信管理・債権管理は十分に対応されている会社も多いと思います。一方で、仕入先の管理については、時間との関係で、なかなか手が回らないケースも多いのではないのでしょうか。仕入先とのトラブルは、企業の信用リスクにも直結します。

本セミナーでは、「なぜ仕入先にも与信管理が必要なのか？」という視点から、典型的なトラブル事例とその対応策、契約実務上の予防ポイント、さらにはすぐに実践できる仕入先管理の重要チェックポイントを実務担当者向けに解説します。企業の安定調達とリスク回避に向けた実践的な知識を習得いただけます。

＜主要講義項目＞

- ・なぜ仕入先にも「与信管理」が必要なのか？
- ・仕入先トラブルの典型パターンと対応の基本
- ・契約実務から見たトラブル防止策
- ・仕入先の属性からみたトラブル防止策
- ・明日からできる！ 仕入先管理の重要チェックポイント

テ ー マ 価格転嫁が迫られる中、銀行の金利交渉術から学ぶ
～それでも取引先に選ばれる企業になるには～
講 師 堀内伸之 氏（あおぞら地域総研㈱ 取締役社長）
会場開催 8月1日（金）10時-12時（視聴期間：9月1日（月）～9月30日（火））
会 場 ㈱商事法務 会議室（東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 3 階）

2024 年 3 月にマイナス金利が解除。日本も「金利のある世界」に戻り、現在、金融機関は金利交渉をどのように進めるかという新たな課題に直面しています。金利交渉は、単なる利率の調整ではなく、金融機関と取引先との関係性を踏まえた慎重な交渉が求められます。この交渉の背景には、金融機関が金利や取引条件等から資金調達コストやリスク管理を考慮し、取引を決めていくという構造があります。

本セミナーでは、この「金利交渉」の視点を応用し、事業会社や商社における交渉の勘所を学びます。金融機関が行う金利交渉のエッセンスは、事業会社における利益率向上や回収条件の短縮交渉、商社における粗利確保や資金負担軽減の戦略にも活用できるものです。これらの交渉の成否がビジネスの収益性を大きく左右します。

そこで、金融機関が行う金利交渉の実例を交えながら、売上と利益のバランスを取りつつ、取引先と円滑に交渉を進めるためのポイントを解説します。また、交渉の場面で相手の信頼を損なわずに適切な条件を引き出すための手法や、デリケートな交渉を成功に導くための具体的なアプローチについても紹介します。金利交渉の知見を活かし、より有利な条件で取引を進めるための実践的な交渉スキルを身につける機会としてご活用ください。

＜主要講義項目＞

1. 交渉の基本原則と心構え
2. 交渉の目的と成功のための基本要素
 - ・相手との関係を損なうことなく条件を引き出すテクニック
 - ・金利交渉の基礎と応用
3. 交渉事例とその応用
 - ・交渉戦略の実践例（利益率確保・回収条件短縮等に活用）
 - ・デリケートな交渉を成功に導く実践例
4. 交渉が決裂しないためのリスク管理
 - ・営業部門への適切なフィードバックと支援

*** 会場開催の同時刻に LIVE 配信を開催します**

テ ー マ	業務効率化のためのテック導入・利活用の実務ガイド（全2回） ～電子契約・署名・文書管理・リーガルテックの導入から運用・最適化・リスク対応まで～
講 師	齋藤弘樹 弁護士／岩本圭矢 弁護士（岩田合同法律事務所）
会場開催	第1回 8月27日（水）10-12時（視聴期間：9月16日（火）～10月15日（水）） 第2回 9月11日（木）10-12時（視聴期間：10月1日（水）～10月31日（金））
会 場	㈱商事法務 会議室（東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階）

近年、電子契約やリーガルテックを導入する企業、契約実務の業務効率化・業務負担減を目指す企業が増加しています。しかし、この流れに合わせるか否かの検討にあたっては、①電子契約や電子文書管理の検討材料（メリット、デメリット、留意点等）、リーガルテックで実現できること／できないことの把握が重要になります。また、これらを把握して導入済み（または導入予定）の企業は、電子契約や電子文書管理に関するデメリットや留意点に対処していくことになりますが、②対処にあたっては、業務効率化・業務負担減という目標との調和を図ることが重要になります。

そこで、本セミナーではまず1日目に「論点整理編」として①について法律と実務の両面から検討材料をご説明し、これから電子契約の導入を検討する企業のお役に立ちたいと考えています。そして2日目に「活用編」として②についてデメリットや留意点の実質をより具体的に見極めた上、実務上の対応・工夫をご説明することで、業務効率化・業務負担減という目標との調和を図る際の指針をお示しできたらと考えています。

電子契約の導入・活用や電子文書管理に関する相談経験が豊富な弁護士と、紛争対応に精通した元裁判官の弁護士が、企業の相談事例や裁判実務における取扱いも交えて、2つの視点からわかりやすく解説します。

<主要講義項目>

◇1日目◇

- | | |
|---|-------------------------|
| 第1 電子契約・電子署名とは？ | |
| 1 導入検討の前提知識 | 2 電子契約の契約締結フローの紹介 |
| 第2 書面による契約と電子契約 有効性（成立）に関する紛争リスクの分析・比較 | |
| 1 書面による契約と電子契約 有効性が争われるケースと有効性の立証方法（概要） | |
| 2 書面による契約と電子契約のリスク比較 | |
| 第3 電子文書管理の概要 | |
| 1 電子帳簿保存法上の保存義務 | 2 契約書管理の観点から見た保存方法 |
| 第4 電子契約システムを自社では導入しない場合 | |
| 1 電子契約の導入を見送る企業とその背景 | 2 取引先の要望により個別対応する場合の留意点 |
| 第5 リーガルテックによる業務効率化 | |
| 1 AIによる契約書レビュー | 2 締結済み契約書管理・契約書台帳管理作成 |
| 3 契約交渉プラットフォーム | 4 法務案件管理 |

◇2日目◇

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 第1 電子契約の円滑な導入・運用 | |
| 1 電子契約を利用する部署・契約類型に関する論点・実務対応 | |
| 2 導入時の社内体制整備に関する論点・実務対応 | |
| 第2 電子契約における無権代理リスク低減実務 | |
| 1 無権代理リスクに関する法的分析と契約実務 | 2 電子契約サービスの機能によるリスク低減 |
| 3 電子契約サービスの機能以外によるリスク低減 | |
| 第3 書面管理と電子文書管理 | |
| 1 書面と電子文書の管理に関するアプローチ（概要） | 2 書面と電子文書の保存期間 |
| 3 電子帳簿保存法対応（電子取引） | 4 電子帳簿保存法対応（スキャナ保存） |
| 5 紛争時の利用を見据えた電子文書管理 | |

***会場開催の同時刻にLIVE 配信を開催します**

テ ー マ 契約条項からみた相殺の実務**講 師 小野 渡 弁護士（松田綜合法律事務所）****会場開催 8月28日(木)10時-12時**（視聴期間：10月1日（水）～10月31日（金））**会 場 ㈱商事法務 会議室（東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 3 階）**

金銭債権を有している取引先に対して、相対する金銭債務を持っているときは、一定の場合、一方的な意思表示によって相殺をすることができます。そのため、例えば取引先倒産の際に、相対する債権債務がある場合には、両当事者のうち資力のある債権者だけが支払いを余儀なくされるというような不公平を解消し、さらに他の債権者に先駆けて弁済を受けることができることにもなるので、相殺はもっとも効果的な債権回収手法の一つといえます。

もっとも、取引先倒産時に相殺の意思表示を行うにあたっては、契約における期限の利益喪失条項の定め方、自社の異なる部門間のみならず子会社・関連会社の債権・債務関係の把握、倒産手続別・行使時期別による意思表示の相手方、行使期間の制約等、留意すべき事項が多くあります。また、2020 年 4 月に施行された民法改正は、相殺実務にも影響がありました。

そこで、本講座では、相殺の基本と実務上の留意点について、具体的な契約条項を例にわかりやすく説明していただきます。

<主要講義項目>

- 1 相殺の基本的な法理と機能
 - 相殺の定義、要件
 - 相殺の効果と実務上の意義（債権回収手段としての有効性）
- 2 差押え・債権譲渡と相殺
 - 差押え・債権譲渡と相殺の優劣
 - 実務上の留意点
- 3 契約に基づく相殺と契約条項の定め方
 - 相殺契約・相殺予約の意味と活用
 - 期限の利益喪失条項の記載例と注意点
- 4 グループ企業における相殺実務
 - 三者間の債権債務と三角相殺
 - 裁判例を踏まえた三角相殺のリスクと対策
- 5 倒産手続における相殺の可否と留意点
 - 民事再生・破産・会社更生における取扱い
 - 破綻時に相殺制限が生じる場面と対策

*** 会場開催の同時刻に LIVE 配信を開催します**

テ ー マ **【実務講座】海外取引先の与信管理の基礎**
講 師 保阪賀津彦 氏（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) コンサルティング 事業本部国際業務推進本部
国際アドバイザー事業部 副部長）
会場開催 **9月3日（水）10時-12時**（視聴期間：10月1日（水）～10月31日（金））
会 場 (株)商事法務 会議室（東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 3 階）

国際ビジネスの拡大に伴い、海外企業との取引が増えています。しかし、「1 日でも支払いを遅らせるのが、海外企業の経理担当者の役目」と言われるように、海外企業との取引には、国内取引とは異なる独自の慣習 があります。これは、欧米だけでなく、アジアや中国などの新興国にも共通する特徴です。

そのため、海外企業と取引を行う際に、国内取引と同じ対応をするだけでは、与信管理や債権管理の面で不十分であり、大きなリスクを招く可能性 があります。また、2025 年はトランプ政権主導による世界情勢の変化や中国の成長減速等不安定なリスクも増えており、審査担当者としても状況の変化に目を配らないといけません。

本月例会では、海外取引先の与信管理に必要な基礎知識と実務対応 を学ぶ機会として、海外与信の専門家 を講師に招きます。最新の事例やコンサルティングの経験を基に、実務に役立つ知識 を分かりやすく解説します。

＜主要講義項目＞

1. 知らないと対応を誤る＝日本企業と海外企業の違い（商慣習や会社に対する考え方）
2. 海外取引先の信用調査方法（各国当局のウェブサイトのご紹介や信用調査会社の特徴）
3. トランプ政権の世界情勢への影響とカントリーリスク管理重要性和危険な国の見分け方
4. 格付（企業の定量・定性評価）・与信限度・取引条件設定の基礎
5. （海外企業取引で頻発しやすい）支払遅延への対応策
6. 輸出債権と海外現地法人における債権リスクヘッジ方法概要

*** 会場開催の同時刻に LIVE 配信を開催します**

テ ー マ	法的視点で解説 AI 導入・利活用の実務ガイド ～中堅・中小企業でも始められる AI ガバナンスとリスク対応～
講 師	殿村桂司 弁護士／小松 諒 弁護士（長島・大野・常松法律事務所） 佐久間弘明 氏（一般社団法人 AI ガバナンス協会 業務執行理事 兼 事務局長）
会場開催 会 場	<u>9月17日（水）15時30分-17時</u> （視聴期間：10月15日（水）～11月14日（金）） （株）商事法務 会議室（東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 3 階）

生成 AI の活用が加速する中で、AI の利活用の過程で「知らずにリスクを踏んでしまう」ケースが増えています。

本セミナーでは、法務・技術の両視点から、AI の利活用におけるリスクを、事例を交えつつ紹介し、今すぐ実務に活かせる最低限のルールづくりについて、AI 関連の法務相談の経験が豊富な弁護士と AI ガバナンス等の政策提言などを行う専門家がわかりやすく解説します。

また、AI 専任部署の設置までは難しい多くの企業にとっても実行可能な、「AI ガバナンス構築のための第一歩」について、具体事例を交えて紹介します。

<主要講義項目>

1. AI 利活用リスクの事例解説
 - ・ AI の社内利用における情報漏えい事案
 - ・ 生成 AI を導入したサービス提供での炎上事案
 - ・ AI チャットボットの誤回答による損害賠償事案
 - ・ AI エージェントの利活用の事案
2. AI に関する法規制
 - ・ 日本における AI 法制の概要
 - ・ 諸外国の AI 法制の概要
3. AI ガバナンスの構築のための第一歩
 - ・ AI ガバナンスの概要
 - ・ 明日から取り組めるチーム作りとルール整備

*** 会場開催の同時刻に LIVE 配信を開催します**

テ ー マ 実務で活かす！工場地における不動産鑑定・評価の最新動向と模擬実演
講 師 松岡貴史 不動産鑑定士（総合都市鑑定（株）代表取締役）
会場開催 9月24日（水）10-12時（視聴期間：10月15日（水）～11月14日（金））
会 場 ㈱商事法務 会議室（東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 3 階）

昨今、経済構造や産業配置の変化により、工場地の不動産価値はこれまで以上に複雑かつ多様化しています。債権管理業務においても、不動産担保評価の重要性は高まっており、とりわけ工場地のような特殊用途地においては、地域の産業動向や設備との一体利用、将来的な転用可能性といった観点を踏まえた精緻な鑑定・評価が求められています。

本セミナーは、2025 年開催の第 1 弾「債権管理担当者のための不動産鑑定・評価の基礎知識とケーススタディ」で得られた基礎的理解を土台とし、さらに一步踏み込んだ“実務的な視点”から、工場地における不動産鑑定・評価の最新動向と、評価手法の具体的な適用過程を模擬実演形式で学ぶことを目的としています。

不動産鑑定士による最新市場動向の解説に加え、実際の鑑定評価書を想定した事例を用いながら、どのように評価方針を定め、各手法を適用し、最終的な評価額を導き出すかを、実践的に体感していただける内容です。債権管理や与信管理に携わる方々が、今後の業務に直結する“評価の目”を養う絶好の機会となることでしょう。

<主要講義項目>

1. 工場地の不動産評価における最新動向と評価の視点
 - 2024 年工場立地動向調査（経済産業省）の実務ポイント
 - 経済構造・産業配置の変化がもたらす工場地の価値変動
 - 設備との一体利用・転用可能性など、特殊用途地としての評価上の留意点
 - 地域別・用途別にみる需給動向と将来予測
2. 評価手法の選定と工場地における実務的な適用ポイント
 - 原価法・取引事例比較法・収益還元法の適用可能性と限界
 - 工場地評価で重視される要素とその評価への反映方法
 - 評価方針の立案と鑑定評価書の構成ポイント
3. 模擬演習：評価プロセスの実践と債権管理への応用
 - 想定事例を用いた評価プロセスの追体験（評価方針～最終評価額）
 - 鑑定評価書を読む・使う視点の獲得
 - 評価結果を債権・与信判断にどう活かすかの実務的解説

※上記は予定のため、変更の可能性がございます

*** 会場開催の同時刻に LIVE 配信を開催します**

テ ー マ	古くて新しい！？ 循環取引をめぐる裁判例動向と企業の管理体制の在り方 ～開示検査事例集も紐解きながら～（全2回）
講 師	遠藤元一 弁護士（東京霞ヶ関法律事務所）
会場開催	第1回：9月30日（火）10-12時 第2回：10月14日（火）10-12時 WEB 配信については後日ご案内いたします
会 場	㈱商事法務 会議室（東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 3 階）

企業間で、同じ商品（ときには実在しない商品）をA社→B社→C社→A社と循環させるように、書類上で売買契約を繰り返す「循環取引」。これは、最終的にA社が架空の売上を計上することを目的とする不正な会計処理の一形態であり、近年もなお新たな事例が後を絶ちません。このようなスキームは一見すると商取引に見えますが、実体のない取引が含まれており、いずれ破綻を迎えることになります。

破綻時には、取引代金を回収できなかった企業が、スキームの首謀者や他の関係会社に対して売買代金請求や損害賠償請求訴訟を提起するケースが多く、実際に多数の裁判例が報告されています。訴訟では、取引の実体がないことを理由とした契約無効の主張、錯誤や通謀虚偽表示による取消し、あるいは物品未受領による代金支払義務の否定（同時履行の抗弁権）や契約解除の可否などが争点になりますが、これらの主張を裁判所に認めさせるには非常に高い法的ハードルがあります。

本セミナーでは、循環取引をめぐる具体的な裁判例を分析しながら、循環取引がなぜ発生し、どのような構造で形成され、どのように発覚・破綻するのかを明らかにしていきます。金融庁が公表する「開示検査事例集」の事案を取り上げ、また直近のエネチェンジのような認められていない売上計上といった広い意味での循環取引や派生的な問題も参照し、実際に会計処理がどのように不正に行われていたのか、企業がどのように処分を受けたのかを詳述します。

また、循環取引に企業が巻き込まれた場合の法的リスクや、社内のガバナンス体制の弱点がどのように作用しているのかについても整理します。M&A後の子会社管理の失敗や、与信管理の不備、内部監査の形骸化など、多くの事例に共通する要因を明示し、企業としてどのような管理体制・防止策が有効かをわかりやすく解説します。

<主要講義項目>

第1回

1. 循環取引とは何か：基本構造と仕組みの理解
A→B→C→Aのような取引の循環構造と、その表面的な商取引との違いを整理
2. 循環取引の代表的な事例とスキームの実態
架空商品の存在や書類偽造を含む典型的な手口について具体例を交えて解説
3. 循環取引が破綻する場面とその影響
スキーム崩壊時の企業間紛争、代金未回収問題の現実と裁判例の紹介
4. 循環取引に関する主要な法的争点と裁判例の動向
契約無効、錯誤・通謀虚偽表示、同時履行の抗弁、契約解除の実務上の論点を解説

第2回

5. 金融庁「開示検査事例集」の分析と実務への示唆
事例にみる不正会計の手口と、企業がどのような処分を受けたかを概観
6. 近時の不適切会計事例の紹介（エネチェンジなど）
循環取引の応用型・派生型としての事例分析とその共通構造の理解
7. 企業の管理体制の脆弱性とリスク要因
M&A後の子会社管理、与信管理の欠陥、内部監査の不備など、組織的背景の整理
8. 循環取引の予防と管理体制構築のための実務対応策
内部統制、商流管理、コンプライアンス体制整備に向けた具体的な提案

アーカイブ動画のご案内

アーカイブ動画は、通常の月例会と異なり、お申込みをせずに一定期間ご視聴が可能です。ただし、お申込みを経由しないため、受講履歴に反映されない点にご留意ください。

配信期間は、セミナー毎に異なりますので、ご注意ください。

【与信管理・信用調査】

1. 3Step 取引・信用リスクマネジメント講座 第3講（配信期限：2025/9/16）

〔講 師〕高市幸男 氏（リスク管理研究所代表 元東京商工リサーチ 取締役）

2. 実務 登記法入門（全2回）（配信期限：2025/8/31）

《第1回》「登記概論」編、「不動産登記」編

《第2回》「商業・法人登記」編、「動産・債権譲渡登記」編、「その他の登記」編

〔講 師〕鈴木龍介 司法書士（司法書士法人鈴木事務所）

3. 経営に資する与信管理とは（配信期限：2025/9/30）

〔講 師〕秋葉伸太郎 氏（太陽誘電㈱）

4. 不動産を評価してみよう～能動的な担保評価のススメ～（配信期限：2025/11/14）

〔講 師〕川端一郎 氏（不動産鑑定士／(株)川端不動産研究所 代表取締役）

5. 日東電工（株）柴田さんと語る与信管理（配信期限：2025/12/15）

〔講 師〕柴田正博 氏（日東電工㈱）／泉 博伸 氏（アクティブ㈱）

6. 商業登記規則改正と会社謄本を使った信用調査方法

～反社会的勢力や不良債権先を見極めるために～（配信期限：2026/1/14）

〔講 師〕中村勝彦 氏（㈱東京エス・アール・シー）

7. 2023 年度版 危ない会社の見抜き方 ～混沌！多様化時代の与信管理（配信期限：2026/3/31）

8. 2022 年度版 危ない会社の見抜き方 ～潮流を読む！端境期の与信管理（配信期限：2026/3/31）

9. 2021 年度版 危ない会社の見抜き方～ニューノーマル時代の与信管理（配信期限：2026/3/31）

〔講 師〕宇津木靖司 氏（元㈱日証）

10. 『【審査】と【与信管理】』銀行の融資審査と事業会社の与信管理の違い

～融資審査を与信管理にどのように活かすか～（配信期限：2026/4/30）

〔講 師〕原 宏孝 氏（大丸興業㈱）

11. 現役審査課長が伝える与信管理の基本と実践（配信期限：2026/4/30）

〔講 師〕大黒高彬 氏（JFE商事㈱）

NEW12. 倒産・ヒヤリハット事例から審査感度を高め、取引先を知る！！～取引先を知ることは、自社を知ること 事例からわかる取引先を見る眼、そして、企業経営～（配信期限：2026/6/15）

〔講 師〕原 宏孝 氏（大丸興業㈱）

【財務分析・会計・税務・金融】

13. プロジェクトファイナンスの基礎と実務〔全2回〕

第1回 基礎編（配信期限：2025/9/30）

〔講 師〕細井文明 弁護士（渥美坂井法律事務所・外国法共同事業）

第2回 応用編（配信期限：2025/10/14）

〔講 師〕島崎 哲 弁護士／本郷真弓 弁護士（渥美坂井法律事務所・外国法共同事業）

14. 経営分析のための計算書類・財務諸表の読み方・分析の基礎講座

〔1. 財務会計コース〕

第1講・第2講（配信期限：2025/10/14）

〔講 師〕久保慎悟 公認会計士（EY 新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー）

第3講・第4講（配信期限：2025/11/14）

〔講 師〕大竹勇輝 公認会計士（EY 新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー）

〔2. 税務会計コース〕

第1講・第2講（配信期限：2025/12/1）

〔講 師〕山本秀人 税理士（KPMG 税理士法人 AMS グループ パートナー）

〔3. 管理会計コース〕

第1講（配信期限：2025/12/15）

〔講 師〕宮田拓海 米国公認会計士（デロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社 シニアコンサルタント）

第2講（配信期限：2025/12/15）

〔講 師〕大西 諒 米国公認会計士（デロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社 シニアコンサルタント）

第3講（配信期限：2026/1/14）

〔講 師〕荻野ななみ 米国公認会計士（デロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社 マネジャー）

第4講（配信期限：2026/1/14）

〔講 師〕柳井崇幸 公認会計士（デロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社 マネジャー）

15. 金融機関の資産評価と管理（配信期限：2026/3/31）

〔講 師〕堀内伸之 氏（あおぞら地域総研㈱）

16. 英文財務諸表の見方・分析のポイント（全2回）

第1回（配信期限：2026/3/31）／第2回（配信期限：2026/4/14）

〔講 師〕津田宗一 公認会計士／小川紀久子 公認会計士／松岡真吾 公認会計士
（有限責任あずさ監査法人）

17. 与信管理のための財務分析手法と実務上の留意点～各種指標の整理と事例研究～（全2回）

第1回（配信期限：2026/3/31）／第2回（配信期限：2026/4/14）

〔講 師〕伊庭壮太郎 公認会計士（伊庭壮太郎公認会計士事務所）

18. 財務分析の基礎のその手前～基本的な会計知識から財務諸表の基本的な見方、実務ですぐに使えるスキルを習得～（配信期限：2026/4/30）

〔講 師〕喜多弘美 公認会計士・税理士（喜多弘美公認会計士・税理士事務所）

【債権回収・倒産・契約・法律】

19. 類型別 取引リスク分析基本講座

第1講 取引総論（配信期限：2025/8/18）

〔講 師〕本多広和 弁護士（阿部窪片山法律事務所）

第2講 新規取引のリスク（食品メーカーを舞台に）

第1回（配信期限：2025/8/18）／第2回（配信期限：2025/9/1）

〔講 師〕荒井康弘 弁護士（丸の内総合法律事務所）

第3講 請負、製造委託及び売買取引上のリスク

第1回（配信期限：2025/9/16）／第2回（配信期限：2025/10/14）

〔講 師〕山根航太 弁護士（虎門中央法律事務所）

第4講 新規ビジネスの検討時 問題発生時のリスクと予防

第1回（配信期限：2025/10/14）／第2回（配信期限：2025/10/31）

〔講 師〕猿倉健司 弁護士（牛島総合法律事務所）

20. 民事法入門～ビジネスパーソンとして押さえるべき最低限のポイントと実務との関連～（配信期限：2025/11/14）
〔講 師〕窪田三四郎 弁護士（西村あさひ法律事務所・外国共同事業）
21. 段階別 債権管理・保全・回収マニュアル&法律事務所選定のポイント
～初動対応、契約から法的手段までの実践ガイド～（配信期限：2025/12/1）
〔講 師〕山田尚武 弁護士（弁護士法人しょうぶ法律事務所）／西田 章 弁護士（西田法律事務所）
22. 英文契約書から考える契約書の基本と実務（全3回）
第1回（配信期限：2026/2/2）／第2回（配信期限：2026/3/3）／第3回（配信期限：2026/3/31）
〔講 師〕長谷川良和 弁護士／酒井嘉彦 弁護士（長島・大野・常松法律事務所シンガポール・オフィス）
23. 経済法令入門（配信期限：2026/2/16）
〔講 師〕窪田三四郎 弁護士（西村あさひ法律事務所・外国共同事業）
24. 担保の基本（配信期限：2026/2/16）
〔講 師〕堀内秀晃 氏（㈱ゴードン・ブラザーズ・ジャパン）
25. 民事裁判実務と訴訟リスクのマネジメント～いまだに絶えない「循環取引」事案をもとに～
（配信期限：2026/4/14）
〔講 師〕三村義幸 弁護士（堂島法律事務所東京事務所）
- NEW**26. 初心者のための債権管理・回収 入門講座～重要ポイントを中心に勘所を養う～
（配信期限：2026/6/15）
〔講 師〕権田修一 弁護士（東京富士法律事務所）
- 【リスクマネジメント・その他】
27. 電子契約・署名・文書管理の現在地～導入から活用までの論点整理と実務対応
【導入編】【活用編】（配信期限：2025/9/16）
〔講 師〕齋藤弘樹 弁護士（岩田合同法律事務所）
28. 審査担当者として知っておきたい！貿易保険の仕組みと保険を活用したリスク管理
（配信期限：2026/2/16）
〔講 師〕高橋 透 氏／種田佑斗 氏（㈱日本貿易保険）
29. 取引先の事業承継と M&A（配信期限：2026/5/14）
〔講 師〕溝渕雅男 弁護士（共栄法律事務所）
30. Q&A 無担保・無保険の国際取引実務
～国際取引決済の基本と実務から考える現実的な落としどころ～（配信期限：2026/5/14）
〔講 師〕安田健一 弁護士／横瀬大輝 弁護士（弁護士法人堂島法律事務所）

等、随時更新予定